

# 令和8年 飯田市教育委員会5月定例会会議録

令和8年5月12日（火） 午後3時00分開会

## 【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	野澤 稔弘
教育委員	林 綾子
教育委員	麦島 真理子

## 【出席職員】

教育次長	秦野 高彦
社会教育担当参事兼国民スポーツ大会推進室長	堤 幹雄
教育政策課長	上沼 昭彦
学校教育課長	伊藤 寿
教育センター所長	松澤 和憲
生涯学習・スポーツ課長	木下 慎一郎
文化財保護活用課長兼考古博物館長	下平 博行
市公民館副館長	小林 和弘
文化会館館長	筒井 文彦
中央図書館長	矢澤 恵
美術博物館副館長兼歴史研究所副所長	牧内 功
教育政策課総務係長	北澤 五月

---

## 日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） それでは、ちょうど時間になりましたので、令和8年飯田市教育委員会5月の定例会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

---

## 日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 最初に、「会期の決定」でございますが、本日の5月12日、1日間といたしたいと思います。よろしいですか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

---

## 日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） では続きまして、会議録署名委員ですが、北澤正光教育長職務代理者を指名いたします。

○教育長職務代理者（北澤正光） はい。

○教育長（熊谷邦千加） よろしく申し上げます。

---

## 日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、「会議録の承認」に入ります。

あらかじめ、原案を各委員のほうにお送りしてございますが、内容につきまして、ご異議等ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） よって、4月の定例会の会議録につきましては、ご承認をいただきました。

---

## 日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では続いて、「教育長報告事項」でございます。

それでは、資料の5ページからご覧いただければなというふうに思います。

皆様方も参加していただいたものが多いかと思いますが、4月、春の行事がいくつありまして、特に大きな「やまびこマーチ」、そして「おもしろ科学大実験」、そして「オー

ケストラと友に音楽祭」がございました。

それぞれの報告のところでご感想等をいただければと思いますが、まず「やまびこマーチ」につきましては、40回の記念大会ということで、「焼肉の街」の北海道の北見市からも大会の宣伝も兼ねてご参加いただいております。

参加者数は後で報告があるかとは思いますが、若干少ない状況ではあったんですが、新たに「和船コース」とか、あるいは「大平コース」の定員拡大、それから協賛企業にもたくさん協力していただいたこと、そして大きな事故がなかったことは大変ありがたいなというふうに思います。

また、さらにニッチローさんが参加いただき、韓国の原州国際ウォーキング大会のイ・ガンオク会長による健康の講演会、テックレンジャー、それから太鼓、昨年に続いて茶道部のお茶の披露とか、ウォーカー飯、記念チャーム、バルーンアートみたいな様々な取組に挑戦していただいて、あの中央公園の上が非常に賑わっていたなという、例年よりもそういう印象がありました。

「おもしろ科学大実験」のほうは、ゴールデンウィーク恒例なんですが、親子の皆さんがたくさんお見えになっていて、今年は海老崎先生がサイエンスショーで、ちょうど私が行ったときには、風力発電とか太陽光発電とか、そういうことに関わる、特に風力発電のものを子どもたちが作るみたいに、発電までいかない風車の風力発電型みたいなものを親子で作っていただいたので、非常によかったなというふうに思います。

参加者のほうを見ると、帰省した親子という方が多かったのかなというふうにも感じました。それからボランティア、中学生、高校生が来ていただいていることもよかったなと思いました。

あと、オケ友につきましても、皆様にも視察に行ってくださいました。特に最後の名曲コンサートは、非常にほぼ満員の状況だったのでありがたかったと思いますし、クリニックコンサートとか、「オケ友音楽ひろば」も非常に工夫のあるメニューといいますか、曲と  
いうか、そんな楽しさを聴く人たちに与えるような素晴らしい取組があったなと思います。

そういう中でも、これは筒井館長さんにお聞きしたんですが、クリニックコンサートなんかは本当は楽器を吹くほうの生徒さんなんですが、怪我をして吹けなくなって、でもコンサートに参加したいという思いを持っている生徒さんがいて、それで川瀬コンダクターさんは、「じゃあ、ピアノを弾いたら」。もともと、本当ならハーブならちょうどいい曲なんですけど、ピアノでも代替ができるってということで、ピアノを弾くという形で参加できて、熱意ある子どもをうまく活かしていただいたそうです。そういう配慮もありがたかつ

たなあとということも感じたところでございます。

また、それぞれの感想等もお聞かせいただければなあとと思います。

私からの報告は以上でございます。

何かこの報告につきまして、何かしらご発言がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

---

## 日程第6 議案審議（15件）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、これより議案の審議に入ります。

---

### 議案第36号 飯田市これからの学校のあり方審議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 最初に、議案第36号、「飯田市これからの学校のあり方審議会委員の任命について」を議題といたします。

議案の説明を上沼教育政策課長、お願いします。

○教育政策課長（上沼昭彦） よろしくお願いたします。

資料7ページになります。議案第36号、飯田市これからの学校あり方審議会委員の任命についてでございます。

飯田市これからの学校あり方審議会条例第4条の規定によりまして、下記4名の者を新たに飯田市これからの学校のあり方審議会委員に任命したいものでございます。

提案理由でございます。

現在、学校のあり方の第2次答申・第2次方針の作成に向け、当審議会にて検討、審議をいただいております。このたび、あり方審議会の委員を選出いただいております選出団体の役員改正によりまして欠員が生じたことから、同条例の規定によりまして、新たに委員を任命したいものでございます。

なお、委員の任期は、条例第5条第2項の規定によりまして、任命の日から前委員の残任期間ということで、令和9年3月31日までとするものでございます。

説明は以上です。よろしくお願いたします。

○教育長（熊谷邦千加） それではこの件につきまして、質問、ご意見はございませんか。

(「ありません」との声あり)

○教育長（熊谷邦千加） それでは、採決をいたします。

議案第 36 号は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご異議なしと認めます。

よって、議案第 36 号は、原案のとおり決定をいたします。

---

### 議案第 37 号 飯田市結核対策委員の任命について

○教育長(熊谷邦千加) 議案第 37 号に入ります。「飯田市結核対策委員の任命について」を議題といたします。

議案の説明を伊藤学校教育課長、お願いします。

○学校教育課長(伊藤 寿) 8 ページをご覧くださいと思います。議案第 37 号、飯田市結核対策委員の任命について、ご説明をいたします。

結核対策委員会は、市内小中学校における結核対策の方針を定めるにあたり、専門的な意見を徴すること目的として設置している委員会でございます。飯田市結核対策委員会条例第 4 条の規定によりまして、関係機関から 6 名の委員を選出し、任命したいとするものでございます。

委員の氏名、住所、役職、選出区分については、記載のとおりでございます。任期は同条例第 5 条の規定によりまして、令和 9 年 3 月 31 日までといたします。

説明は以上でございます。

○教育長(熊谷邦千加) この件につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) それでは、採決をいたします。

議案第 37 号は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご異議なしと認めます。

よって、議案第 37 号は、原案のとおり決定をされました。

---

### 議案第 38 号 飯田市就学相談委員会委員の委嘱について

○教育長(熊谷邦千加) 次に、議案第 38 号、「飯田市就学相談委員会委員の委嘱について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

松澤教育センター所長、お願いします。

○教育センター所長（松澤和憲） 資料の9ページをお願いします。議案第38号、飯田市就学相談委員会委員の委嘱についてでございます。

飯田市の就学相談委員会は、教育上特別な配慮を要する幼児、児童及び生徒に適切な学びの場に向けた就学相談行うことなど、特別支援教育の充実を図るために設置した委員会でございます。

飯田市就学相談委員会条例に基づく飯田市教育委員会の附属機関でございまして、令和7年度末での2名の委員の異動に伴いまして、飯田市就学相談委員会条例第3条第2項の規定により、今年度新たに記載の2名の方に委員の委嘱をしたいとさせていただきます。

氏名、所属、職名につきましては、ご覧のとおりでありまして、任期は同条例第4条の規定により、令和9年3月31日まででございます。

説明は以上になります。よろしく申し上げます。

○教育長（熊谷邦千加） この件につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、これより議案第38号を採決したいと思います。

本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第38号は、原案のとおり決定をされました。

---

### 議案第39号 飯田市小中一貫教育推進委員会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第39号、「飯田市小中一貫教育推進委員会委員の委嘱について」。

松澤教育センター所長。

○教育センター所長（松澤和憲） それでは、議案第39号、飯田市小中一貫教育推進委員会委員の委嘱について、お願いいたします。

資料10ページから11ページでございます。

こちらは飯田市立小学校及び中学校において実施する小中一貫教育について、その効果的な推進に必要な事項の検討を行うために設置する委員会でございます。

今年度、飯田市小中一貫教育推進委員の設置を行うにあたり、飯田市小中一貫教育推進委員会要綱第3条第2項の規定により、以下の17名を小中一貫教育推進委員会委員に委嘱したいと提案するものでございます。

氏名、所属等、また新任・再任につきましては、ご覧のとおりでございます。

任期は、同要綱第4条の規定で1年間でございます。

以上です。よろしく申し上げます。

○教育長（熊谷邦千加） この件につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いをいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第39号を採決いたします。

本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第39号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第40号 飯田市学校運営協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第40号、「飯田市学校運営協議会委員の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

松澤教育センター所長。

○教育センター所長（松澤和憲） 続いて、議案第40号、学校運営協議会委員の任命についてお願いいたします。

12ページでございます。

学校運営協議会委員は、既に、前回の教育委員会定例会で任命をいただいておりますが、竜東学園の学園長、上郷小学校・千栄小学校の各校長より、学校運営協議会委員の追加推薦がありましたので、飯田市学校運営協議会規則第7条第1項の規定により、任命したいというものでございます。

任期は、同規則第9条第1項の規定で1年となります。

また、竜東学園、旭ヶ丘学園、遠山郷学園の各学園長から学校運営協議会委員の推薦の変更があったため、飯田市学校運営協議会規則第7条第2項の規定により、任命したいというものでございます。

任期は、同規則第9条第2項の規定により、令和9年3月31日までとなります。

説明は以上です。よろしくをお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの件につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) それでは、採決をいたします。

議案第40号を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご異議なしと認めます。

よって、議案第40号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第41号 飯田市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

○教育長(熊谷邦千加) 続きまして、議案第41号、「飯田市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長(木下慎一郎) 13ページになります。議案第41号、飯田市スポーツ推進審議会委員の委嘱についてでございます。

飯田市スポーツ推進審議会条例第3条の規定により、下記の2名の方をスポーツ推進審議会委員に委嘱したいとするものです。

提案理由につきましては、飯田市スポーツ推進審議会条例第4条の規定により、補欠委員として委嘱させていただきます。

任期については、前任者の残任期間である令和9年3月31日までということをお願いしたいと思います。

よろしく願いいたします。

○教育長(熊谷邦千加) この件につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) それでは、議案第41号を採決いたします。

本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご異議なしと認めます。

よって、議案第41号は、原案のとおり決定をいたします。

---

#### 議案第42号 飯田市青少年育成推進委員の委嘱について

○教育長(熊谷邦千加) 続きまして、議案第42号、「飯田市青少年育成推進委員の委嘱について」

を議題といたします。

提案の説明をお願いします。

木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） 14 ページになります。議案第 42 号、飯田市青少年育成推進委員の委嘱についてでございます。

飯田市青少年育成センター設置要綱第 5 条第 2 項の規定により、下記の 2 名の方を青少年育成推進委員に委嘱したいとするものであります。

提案理由につきましては、飯田市青少年育成センター設置要綱第 5 条第 4 項の規定により、下記の者を補欠委員に委嘱させていただければと思っております。役員改正に伴うものです。

任期については、前任者の残任期間である令和 9 年 3 月 31 日までとしたいと思っております。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） この件につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、採決に入りたいと思います。

議案第 42 号を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 42 号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第 43 号 飯田市みらい創造教育推進協議会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続いて、議案第 43 号、「飯田市みらい創造教育推進協議会委員の委嘱について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） 15 ページになります。議案第 43 号、飯田市みらい創造教育推進協議会委員の委嘱についてでございます。

飯田市みらい創造教育推進協議会設置要綱第 5 条第 2 項の規定により、下記の皆さんを委員に委嘱したいとするものであります。

任期につきましては、令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日ということで、1 年任期

でお願いしたいと思っております。

説明は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、採決に入りたいと思います。

議案第 43 号を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 43 号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第 44 号 飯田市我が家の結いタイム推進協議会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続いて、議案第 44 号、「飯田市我が家の結いタイム推進協議会委員の委嘱について」を議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

続いて、木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） 17 ページになります。議案第 44 号、飯田市我が家の結いタイム推進協議会委員の委嘱についてでございます。

飯田市我が家の結いタイム推進協議会設置要綱第 4 条第 2 項の規定により、下記の皆様を飯田市我が家の結いタイム推進協議会委員に委嘱したいとするものであります。

こちらにつきましては、任期は令和 9 年 3 月 31 日までの 1 年ということをお願いしたいと思っております。

説明は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第 44 号を採決いたします。

本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 44 号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第 45 号 飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 次に、議案第 45 号、「飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会委員の委嘱について」を議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） 18 ページになります。議案第 45 号、飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会委員の委嘱についてでございます。

飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会設置要綱第 5 条第 2 項及び第 7 条第 2 項の規定により、下記の 6 名の皆様を委員に委嘱したいとするものであります。

提案理由につきましては、こちらの方の役員の改選によりまして、下記の皆さんを補欠委員として委嘱したいと思います。

任期につきましては、前任者の残任期間である令和 9 年 3 月 31 日までとしたいとするものであります。

説明は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第 45 号を採決いたします。

本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 45 号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第 46 号 飯田市図書館協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続いて、議案第 46 号、「飯田市図書館協議会委員の任命について」を議題といたします。

議案の説明を矢澤中央図書館館長。

○中央図書館長（矢澤 恵） お願いいたします。

議案第 46 号、飯田市図書館協議会委員の任命について、お願いいたします。

19 ページをご覧ください。

本議案は、飯田市図書館条例第 12 条の規定により、飯田市図書館協議会委員を任命したいとするものでございます。

提案理由としましては、委員のうち 1 名の方が令和 7 年度末で転任されましたので、新

たな委員の方の任期を求めるものでございます。

委員の氏名、住所、区分等は記載のとおりでございます。

任期は、当条例第3項の規定により、前任者の残任期間である令和9年3月31日まででございます。

説明は以上となります。お願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、採決をしたいと思います。

議案第46号につきまして、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第46号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第47号 飯田市美術博物館協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第47号、「飯田市美術博物館協議会委員の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

牧内美術博物館副館長。

○美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは20ページ、議案第47号をご覧ください。

本案は、飯田市美術博物館条例第14条第1項の規定により、協議会委員を任命したいとするものでございます。

年度が切り替わり、社会教育及び学校教育の関係者として、飯田市公民館長会と飯田市教頭会から推薦いただいた2名の方と、経済関係の学識経験者として委員をお願いした方の7年度末の役職退任に伴いまして、8年度新任の役職の方を加えた合計3名の協議会委員の任命を提案するものでございます。

氏名、住所、所属等、備考は記載のとおりでございます。

任期は、承認いただいてから令和10年3月31日まででございます。

よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第 47 号について採決をいたします。

本案を、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 47 号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第 48 号 飯田市美術博物館評議員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続いて、議案第 48 号、「飯田市美術博物館評議員の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

牧内美術博物館副館長。

○美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは、21 ページ、議案第 48 号をお願いします。

議案第 48 号は、飯田市美術博物館評議員（美術分野）の任命でございます。

令和 7 年 5 月 15 日から 2 年間、美術分野の評議員としてお願いしてきた 2 名につきまして、新年度になりまして、所属している団体での交代がありましたので、飯田市美術博物館条例施行規則第 5 条の 2 第 1 項の規定によりまして、改めて所属している団体であります下伊那教育会図工・美術家委員会及び同会の菱田春草研究委員会から推薦いただきました 2 名の方の任命について、提案するものでございます。

氏名、住所、所属等、備考は記載のとおりでございます。

任期は、承認いただいてから前任者の残任期間である令和 9 年 3 月 31 日まででございます。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、採決に入ります。

議案第 48 号を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 48 号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第 49 号 飯田市歴史研究所協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第 49 号、「飯田市歴史研究所協議会委員の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

牧内歴史研究所副所長。

○美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは、22 ページ、議案第 49 号をご覧ください。議案第 49 号は、飯田市歴史研究所協議会委員の任命でございます。

本案は、飯田市歴史研究所条例第 7 条第 2 項の規定により、協議会委員を任命したいとするものでございます。

年度が切り替わり、学校教育及び社会教育の関係者としまして、飯田市教頭会及び公民館長会から推薦いただいた 2 名の方の任命を提案するものでございます。

氏名、住所、所属等、備考は記載のとおりで、任期は承認いただいてから令和 10 年 3 月 31 日まででございます。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第 49 号を採決いたします。

本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 49 号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第 50 号 飯田市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について

○教育長（熊谷邦千加） 続いて、議案第 50 号、「飯田市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

伊藤学校教育課長。

○学校教育課長（伊藤 寿） 23 ページをご覧いただきたいと思います。

議案第 50 号、飯田市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について、説明をさせていただきます。

教職員の仕事と育児の両立支援を一層拡充するため、長野県教育委員会からの通知に基づき、飯田市立小・中学校職員服務規程の一部を改正するものでございます。

改正する内容につきましては、昨年度、子育て部分休暇が新設されましたが、子育て部分休暇が拡充され、職員の子育て部分休暇の取得形態が多様化したため、規程及び様式をそれに合わせて整備したいとするものでございます。

具体的な内容でございますが、子育て部分休暇の取得が満9歳まででございましたが、満12歳に達する日以降の最初の3月31日までに拡大し、子育て部分休暇の時間が1日につき2時間を超えない範囲内に加え、選択肢が増加したものでございます。

33ページから34ページに新旧対象表をお付けしてございます。改正する部分につきましては、下線でお示ししてございます。

32ページのほうにお戻りをいただきまして、附則につきましては、施行期日を定めるものでございますが、この訓令は、公布の日から施行し、令和8年4月1日以降に申請を行うものに適用したいとするものでございます。

説明は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま資料が載っておりますが、議案第50号につきまして、何かご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

野澤教育委員。

○教育委員（野澤稔弘） すみません、第1種と第2種がここの表に書いてありますが、両方合わせて年10日以内ということによろしいでしょうか。第1種っていうのが時間ですね。2時間を超えない範囲内というのが第1種の部分休暇となっております。年10日相当を超えない範囲内というのが第2種の部分休暇となっておりますが、これを両方合わせて年10日なのでしょうか、それとも違う解釈でしょうか。

○学校教育課長（伊藤 寿） 今までは1日につき2時間を超えない範囲内のみの適用でございましたが、それが第1種でございまして、今回新たに、「または」ということで、1年につき、職員の育児休暇等に関する条例に基づき、その時間を超えない範囲内で必要と認めるといものが加わりまして、この時間が約77時間30分、10日以内というようなことでございます。こちらを2種というふうについてございます。

今までの1日に2時間を超えない範囲に加えて、そういった取得形態が新たに今回加わったということでございます。

○教育委員（野澤稔弘） 総合すると合計時間数、1種と2種と合算して制限があるかと思いますが、いかがでしょうか。

- 学校教育課長（伊藤 寿） 「または」ということでどちらかの選択になるかと思われま
- す。
- 1種を選択する場合と2種を選択する場合。2種は非常勤以外は77時間30分ですから、自
- 分の勤務形態とか希望に合わせて選択をするような形になってございます。
- 教育委員（野澤稔弘） それでは、両方混合しては使えないということですね。
- 学校教育課長（伊藤 寿） はい、1種と2種は別ということ、「または」ということござい
- ます。
- 教育委員（野澤稔弘） 分かりました。
- 教育長（熊谷邦千加） どちらか選んで、条件は77時間30分。
- 学校教育課長（伊藤 寿） そうですね。2種のほうは非常勤以外の者だと77時間30分という
- ことになっております。
- 教育長（熊谷邦千加） よろしいですか。
- 教育委員（野澤稔弘） はい、分かりました。
- 教育長（熊谷邦千加） 複雑になって。選択肢が増えたと、学校の教員にとってはありがたい
- ことだとは思っております。ちょっとそこら辺のところ为难しくなってきました。
- そのほかどうでしょうか。
- （「ありません」との声あり）
- 教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第50号について採決をいたします。
- 本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。
- （「ありません」との声あり）
- 教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。
- よって、議案第50号は、原案のとおり決定をされました。
- 議案審議は以上でございます。

---

## 日程第7 協議事項

- 教育長（熊谷邦千加） 続いて、協議のほうに入ってまいりたいと思います。

---

### 協議事項1 飯田市公認地域クラブ大会遠征費補助要綱について

- 教育長（熊谷邦千加） 最初に、協議事項第1「飯田市公認地域クラブ大会遠征費補助要綱に
- ついて」を議題といたします。

木下生涯学習・スポーツ課長、議案の説明をお願いします。

- 生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） 44 ページになります。飯田市公認地域クラブ大会遠

征費補助交付要綱ということでご説明させていただきます。

本物の要綱については、市長名でということで別途、今、作成をしております。今日のご説明という形でお願いできればというふうに思います。

この要綱の趣旨ですが、第1条に記載がありまして、飯田市が認定した公認地域クラブが部活で行われていたとおり、遠方で行われる中体連等の大会への参加する際の交通費と宿泊費についての一部助成ということで要綱を作成しております。

対象となる大会であります。スポーツにつきましては、夏の中体連と新人戦という中体連が主催する大会、及びその上位大会ということになります。

吹奏楽・合唱のコンクールや文化芸術については、ご覧のとおりで年2回までということで、ただし、その結果による出場権を得た上位大会は1回とみなすということで、対象となる大会とさせていただきます。

対象者ですが、こちらについては、まずは選手、選手の人数と、あと指導者については、指導者1大会につき1名までということになります。

実際の補助金額と交付先についてですが、県内につきましては、こちらの表に記載があります地域別補助金額に、先ほど3番でお話しさせていただいたその対象者の数を乗じて、それを上限として、実費の部分を公認地域クラブへ交付するということになります。

実際に、地域別補助金額、4パターンをつくっております。それぞれの金額及び目的地の例として記載があります。上伊那については、伊那市とか駒ヶ根市。また、伊北より北の諏訪とか岡谷、松本、阿曇野市の区分と、東北信、長野市、佐久市等を例として目的地の記載させていただいております。それぞれ小型バス、中型バス、自家用車につき1人当たりの金額ということになっております。

こちら基準によって、具体例として、松本市に選手20名で、指導者1名、合計21名が中型バスで遠征したといった場合の金額ですが、8,200円×21ということで、17万2,200円になります。この額を上限として、実際にかかったバス代ということで補助をさせていただくというものになります。仮に、実際に17万5,460円ぐらいのバスがかかった場合には、この具体例として出ているその補助金額を補助させていただくということになります。

次の45ページですが、自家用車を使った場合についてですが、仮に11名選手と指導者1名、合計12名がこちらの松本へ同じく遠征した場合においては、先ほどの表から4,400円×12名ということで5万2,800円ということになります。これについては車大体4台分くらいでの計算となりますが、それ以上車を出していただいても、この金額が上限として交付させていただくということになります。

県外ですが、スポーツ分野については、北信越とか全国大会については県の中体連から補助が出ますので、そちらの補助ということで、補助の対象外とさせていただくということです。ただし、合理的な手段による経費、例えば、急行で行かなきゃいけないところを鈍行で計算されているとか、そういった場合においては、その差額について補助させていただくという予定です。

吹奏楽、合唱、文化芸術分野につきましては、公共交通の1人当たりの料金を算出して、その金額を上限とさせていただきます。

(2) 宿泊費ですが、東北信地区で開催される県大会以上の大会で、行程が2日以上にわたる場合については、1名につき1万円を上限として、実費を公認地域クラブへ交付させていただくという予定です。

申請方法については、今日は添付してなくて申し訳ないんですが、要綱に申請書と所定の様式として制定させていただいております。

審査をさせていただいて、決定した金額を公認クラブの指定の口座へ振り込む予定です。

こちらの補助の受付交付開始については、令和8年の6月、中体連の大会に間に合うように作業を進めているところであります。

説明は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

野澤教育委員。

○教育委員（野澤稔弘） 今の県外の吹奏楽、合唱及び文化芸術分野のところに書いてあるコメントで、「東海大会、関東ブロック大会、全国大会等は一番合理的な移動手段の公共交通機関の1人当たり料金を云々」とありますが、この「一番合理的」というのは時間でしょうか、お金でしょうか、どちらでしょうか。それとも複合的なものでしょうか。

○教育長（熊谷邦千加） 木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） 時間も当然ありますし、移動手段として一般的な公共交通ということもありますので、その辺はすみません、ちょっと。

○教育委員（野澤稔弘） わざと濁してあるということでしょうか。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） そうですね。こちらの開始時間等もあるかもしれませんが、そういったことを総合的に考えて判断させていただければと思います。

○教育委員（野澤稔弘） はい、分かりました。

○教育長（熊谷邦千加） 料金で行けば飯田線でひたすら行ったほうが安いんですが、時間が間

に合わないので、バスで乗っても合理的と考えて、それを許可するということだと思えますね。

よろしいですかね、そういうことで。

さらにいかがでしょうか。

北澤職務代理。

○教育長職務代理者（北澤正光） 今、話題になっている新潟県の北越高校の例のように、参加団体が料金を安く抑えるために、例えば、レンタカーの中型バスを借りて、運転手さんはどこかから探してきて乗せてもらってみたい、まさに今「合理的」という話があったのですが、合法か違法かという微妙な点のところの見分けというか、そういうようなことへの条件とかをここでは全く触れないというか、触れる筋のものではないのかもしれないですが、結構ありそうな、今回の北越高校の事案も実際の中では全国的にもありそうな内容ではないかと思うのですが、その辺に関わっては何かありますか。

○教育長（熊谷邦千加） 木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） 今おっしゃられたとおり、まさに今話題の話ですので、注意を払ってこのことを進めなければという認識はあります。

まず、一つはですね、5月20日にクラブの代表者さんの会議がありますので、この制度の説明をする際に、今おっしゃられたような安いからということでそういった選択を取らないように、違法な白バスとかそういったものに誘導しないような話をしたいというふうに思っております。

あと、先ほど、松本の事例を出させていただいたんですが、実際に松本へバス会社さんを使って、朝6時から夕方6時までバスを貸し切った場合に17万5,460円という金額がかかります。実際に今回補助する想定になっておるものが17万2,200円ということになりますので、補助金額については、そういったちゃんとお願ひできるバス会社さん、その旅行代金としての補助金額を想定しておりますので、そういった意味でも、そういったところにちゃんとお願ひしていただくようなことで、お願ひをさせていただければというふうに思っております。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） この金額設定は、緑ナンバーのバス会社の料金を基に金額設定しているところですね。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） そういうところです。

○教育長（熊谷邦千加） はい、白ナンバーではなくて。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎）　そうです。

○教育長（熊谷邦千加）　さらにいかがでしょうか。

林教育委員。

○教育委員（林　綾子）　4の（2）宿泊費というところがあるんですが、ここは「東北信地区で開催される県大会以上の大会」というふうになっているんですが、これは県外、ちょっと県外のことについては宿泊費は触れられてないということの認識でいいでしょうか。

○教育長（熊谷邦千加）　木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎）　すみません、ちょっと記載が親切ではないからかなというふうに思います。すみませんでした。

県内は東北信地区ということで、県外についてはこちらの対象になりますので、ちょっと記載のところは不親切だと思います。すみません。

○教育長（熊谷邦千加）　よろしいですか。

○教育委員（林　綾子）　はい。

○教育長（熊谷邦千加）　さらに、じゃあ麦島教育委員。

○教育委員（麦島真理子）　申請方法のところ、「大会前に補助金を受け取りたい場合は事前に申請が必要です」ということですが、大会前と実際行ったメンバーが当日また違ってきたりとか、そういうことを後日また報告する必要があるのかとか、あとクラブチームが申請をし忘れた場合、いつまでに申請しなければいけないとか、期限があったら教えてください。

○教育長（熊谷邦千加）　木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎）　制度自体が公認地域クラブを応援するという制度ですので、できるだけ融通は利かせていきたいなとは思っております。

事前に概算払いをお支払いさせていただいて、その後、精算するという方法も選択肢としてありますので、その際においては、申請していただいたときに概算金額を出していただいて、最後精算させていただくということを経済書とさせていただくということになるかと思えます。

出し忘れたという点については、ちょっとここはなかなか言い方が難しいと思うんですが、臨機応変に柔軟にちゃんとしたという事実があれば、またできる限り事前申請でその辺のところは、先ほど申し上げた代表者会等を通してお話しさせていただきたいと思っておりますが、臨機応変な対応はしたいとは思っております。

○教育長（熊谷邦千加）　これは年度をまたがるとちょっと難しくなっちゃいますね。

木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） この事業自体がやっぱり年度単位の予算になりますので、年度をまたいでしまうと、さすがに支給は無理だと思っております。

○教育長（熊谷邦千加） さらにいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それではいろいろご意見をいただきましたので、またより分かりやすく表現等も確認したり、質問、ご意見いただいたことを生かしてまいりたいなというふうにあります。

それでは、以上で協議事項のほうは終了とさせていただきます。

次の日程に進みます。

---

## 日程第8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） 「陳情審議」ですが、本日はございません。

---

## 日程第9 その他

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして「その他」に入ります。

---

### （1）教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 初めに、教育長職務代理者、教育委員の皆様方からご報告がございましたらお願いをいたします。

では、麦島教育委員からお願いします。

○教育委員（麦島真理子） 5月4日に「オケ友音楽クリニック」の視察に行つてまいりました。

飯田病院で行われた「そよ風コンサート」ファゴットのアンサンブルでは、患者さんと病院スタッフさん以外にも多くの方が足を運んで、会場いっぱいの中で行われました。コロナ禍で中止になったコンサートが今回復活ということで、ファゴットという独特な温かみのある楽器の音色にとっても癒された空間や時間であったと思われました。また、ただ音楽を聴くだけでなく、長野県内の各地から集まったメンバーの紹介、あと、楽器の特徴、重さとか長さとか、音域の広さとか、そういう楽器の学びもとても楽しかったです。

その後、文化会館に移動して、音楽クリニックの吹奏楽ジュニアコース全体リハーサルの様子を見させていただきました。

昨年も思ったんですが、プロから直接指導をいただくこととか、飯田下伊那のいろいろな学校の子どもたちが心を一つに演奏する貴重な機会は、このまま続けていただきたいと思うほど、とても素晴らしい機会であると思いました。

あと何より、川瀬さんのご指導を受ける子どもたちの、先ほど教育長もおっしゃっていたんですが、ハーブの子がピアノをやったりとか、真剣な表情とか、その熱意や姿勢がすごい、とても素晴らしいなと感じました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） すみません、管楽器の子がということでした。報告の仕方がすみません。

ありがとうございました。

さらにいかがでしょうか。

では、野澤教育委員。

○教育委員（野澤稔弘） 私も全く同様でございますが、4日にオケ友の視察ということで、飯田病院に同行させていただきました。

ファゴットという楽器、オーボエもそうですが、リードが上下2つあって、その2つを揺らさないと音がうまく出ないということで、やっぱり特徴的なのは、長く伸ばす音がすごく響きがよくなるというお話を伺ったことがあって、やっぱりゆったりとした音色がお年寄りが多い病院には、優しい気持ちにさせる、そういう音だったなと感じました。

その6日の日に、オケ友の「また会おう会」という飲み会なので行こうと思って行きました。たまたま化粧室で川瀬さんにお会いして、そこで4日のクリニックの状況なんか話を聞く中で、「すごくいろんな子どもたちのいい部分を引き出すのがお上手ですよ」という話をさせていただいたら、「いや、違うんだよ」と。「もともと彼らはうまいんだよ」という言い方をされていて、「それをちょっと刺激してあげるだけだった」というような話をされていました。そういうものを捉える力というのがすごいなと思った次第でございます。

本当にいいものを見させていただいたなと思いました。ありがとうございました。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

さらに、林教育委員、お願いします。

○教育委員（林 綾子） 少し前のお話になりますが、4月12日に人形劇の定期公演を小学生の娘と行ってきました。

その日は松川村という遠くからですが、「三びきのやぎのがらがらどん」を上演された劇団と、それから糸操り人形竹の子座さんの演目でした。

松川村から毎年多分人形劇フェスタのほうにも出ていらっしゃるんですが、非常に迫力のある人形で、馴染みのある物語ではあったんですが、大変楽しく見させていただきました。

また、糸操り人形というのを私は初めて見させていただいたんですが、竹田人形館、あちらで活動されているということで、人数はすごく少ないというか「やる方を募集してます」というようなことをおっしゃっていましたが、本当に間近でその糸で操るということ、本当に技術に感心させていただきました、子どももちょっと見慣れない、どちらかというと今、人形劇というと、糸っていうのはそんなにたくさん見ることはないですので、新鮮な気持ちで見させていただきました。

それと5月3日ですが、「オケ友音楽ひろば」の中で「楽器とあそぼう」という、これは子どもに楽器を体験させてもらえるという機会でしたので、小学校二年生の娘を連れて応募させてもらって、無事当たったので行かせてもらいました。

初めてヴァイオリンですとか、ヴィオラとかの弦楽器を触って、特にヴィオラなんかちょっと体型からすると大きくなっちゃって、なかなか支えるだけでも大変かなって感じで、私自身も全く弦楽器って触ったことがないので、本当に恐る恐るという感じで、娘も触りまして、でも、音がその場でも出る喜びというのを味わせていただいて、本当になかなか普通の生活をしているとっていうか、自分自身がやってなかったりすると、子どもも体験する機会がありませんので、非常に貴重な機会だったなというふうに思いました。

また、弦楽器以外にハンドベルとか打楽器がたくさんあったんですが、打楽器の案内役に長女が吹奏楽をやってたときの同級生が案内役で入ってくれて、活躍している様子を間近で見られました。その子は、その後、オーケストラのコンサートのほうにも、高校生何人か入ってましたが、そこにも入っていて活躍しているなということで、とても嬉しく感じました。

小学生の娘のほうはその楽器体験の1時間で結構ぐったりというか、初めてのことでドキドキしちゃったのか、ちょっと若干コンサートのときにはぐったり気味ではあったんですが、コンサートのほうも3人の司会進行も楽しく、歌をみんなで歌うという場面では座席でしっかり歌って、そういった子どもに親しみが湧くようなコンサートがとてもよかったなと思いました。

それと4日は、皆さんと同じくファゴットのアンサンブルを見せていただいて、ファゴットのほうも私、楽器自体をしっかり見るのが初めてで、遠くからではありましたが、きっちり持ち上げて説明してくださったので、とても興味深かったです。また、外からも、

病院の方ももちろんいらっしゃいましたが、外からたくさんの方が見に来ているのが嬉しいなというふうに思いました。

また、その後のクリニック、ジュニアコースのほうでも、ホールで本番前日の皆さん、緊張感のある様子というのが拝見できました。中には知っているお子さんも何人か、いろんな学校の知っているお子さんがいて、その子たちが普段見せる表情とは違う、すごく真剣な表情が見られまして、嬉しく感じました。ありがとうございます。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

じゃあ、北澤教育長職務代理、お願いします。

○教育長職務代理者（北澤正光） オケ友のことに関しては、皆さんと同じですが、特に6日の名曲コンサート。本当に満席の状態、駐車場の係の方もあれは大変だなと。多分、今宮球場の上のほうの駐車場まで全部いっぱいにして、やっとさばききれたのかなというふうに思います。どっちにしても本格的なオーケストラの演奏が、ああやって地元でいながらにして聴けるとするのは、本当にありがたい機会だなというふうに思いました。

教育長の報告にもありましたが、とりわけ今年はクリニックで育った熊谷謙志さんの出演もあって、私の後ろの席にいたご家族も、その謙志さんの知り合いの人たちみたいで、そんなことを盛んに事前に話題にしながら、本番を楽しみに聴かせてもらったというそんな場面でした。

実行委員の皆さん、行くたびに同じ皆さんとお会いしました。館長をはじめ何度もお会いして、皆さんも大変だなと思いましたが、舞台裏を支えていただいて本当に献身的なご尽力を毎年していただいているなと思いました。

あと別件ですが、ちょうど今、教育長と学校訪問をさせてもらっている最中ですが、昨日までで20校終わったところです。全体的な印象としては、今年は例年以上に各学校が落ち着いてスタートが切れているという印象です。

そんな中で3点ほどあります。1点目は「ムトスの学び」ということも言っていて、各学校でもかなり子どもの主体的な取組のある、そういう楽しい学校にしたいというような意向がかなり反映してきています。グランドデザインの中にも、児童会や生徒会の役員と、去年のうちにどんな学校にしたいという話し合いをして、子どもたちの希望とか「こんなふうにしたい」というのを受け止めて、それをグランドデザインの中に位置づけたり、反映しているという学校がかなり増えてきています。したがって、言葉も大人向けの言葉じゃなくて、子どもにも分かる言葉でグランドデザインをつくろうというような動きをして

いる学校もいくつかあって、そういうことも含めて、「ムトスの学び」だなというふうにして受け止めてきました。

2点目は、先ほども協議会のほうでお聞きしたのですが、校内中間教室がかなり充実してきていて、校内中間教室の中で過ごしているお子さんの人数がかなりいるという、まさに多様な学びの教室が少しずつできてきているのかなと、今後に期待したいなと思っています。

3点目は、「みらい創造科」がいよいよ今年から具体的にスタートして進んでいくわけですが、題材やテーマがそれぞれの学校でカリキュラムとして具体的に全部揃ったものを見せてもらっています。

そんな中で、小中学校が協働で進めようとしているような大きな動きとか、いろいろ工夫している動きは伺ってきています。

ほかの地域から見た先生方には、何のことかよく分からないといったこともあるので、どんなテーマがあるかとか、どんなふうに単元をつくれればいいのかみたいところを先生方で話し合っ、テーマの一覧を出しているような学校とか、校長先生自ら自分がもしやるとしたら、この地域だったらこのテーマで25時間つくりますというような具体例をつくったものを先生方に示して、始めようとしているといったことも見せてもらってきました。

どっちにしても、「みらい創造科」が具体的に始まっていくので、どんな学びが各学校で進んでいくか、楽しみだなと思っているところです。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

それぞれのご報告につきまして、何かご質問、ご発言等ありましたらいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

では、次に進みたいと思います。

---

## （2）教育次長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 「教育次長報告」。

○教育次長（秦野高彦） ございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

### (3) 社会教育担当参事報告事項

- 教育長（熊谷邦千加）　続きまして、「社会教育担当参事報告事項」。
- 社会教育担当参事兼国民スポーツ大会推進室長（堤　幹雄）　ございません。
- 教育長（熊谷邦千加）　はい。

---

### (4) 教育政策課関係報告事項

- 教育長（熊谷邦千加）　それでは（4）番にまいります。「教育政策課関係報告事項」。

上沼教育政策課長。

- 教育政策課長（上沼昭彦）　それでは資料4ページをご覧ください。

少しお時間をいただきまして、遠山学園小学校再編の取組について、報告をさせていただきます。

資料4ページには、これまでの再編の取組の経過等を掲載しているところでございます。

4月の定例会におきまして、再編後の校名が「飯田市立遠山小学校」に決定したこと、また、校歌・校章の検討が始まったことなどを報告させていただきました。本日は、それ以降の取組について報告をさせていただきます。

一枚めくっていただきまして資料5ページをご覧ください。

4月21日に第4回の遠山郷学園小学校再編検討委員会を開催しております。校歌と校章の作成に向けまして、誰にお願いをしていくか、また、どのような校歌・校章をつくっていくか、その概要や、制作のスケジュールについてご検討いただき、決定をいただいております。

その検討に基づきまして、4月27日に、遠山郷学園小学校再編検討委員会から飯田市教育委員会に対して報告をいただいております。報告いただいた資料6ページからとなります。遠山郷学園小学校再編にかかる校歌及び校章の制作についての報告でございます。

4月21日に開催いたしました第4回検討委員会において、校歌及び校章の制作の委託先の案と概要を決定したので報告するとともに、速やかに委託先と契約を締結し、校歌及び校章の制作を進めてほしいという旨の報告でございます。

報告の内容でございますが、まず校歌の制作につきましては、制作をお願いする委託先の案といたしまして、葭本直樹氏がふさわしいのではないかと報告を受けております。

選定の理由でございますが、葭本氏は上村小学校で教頭を務められた経験がございまして、現在は音楽の専科として竜東中学校で勤務をされていらっしゃる。また、令和7年度まで上村少年少女合唱団を指導されるなど、地域とのつながりを持っていらっしゃる。

ます。また、葭本氏は遠山地域への思い、これ非常に強い思いを持っておられまして、遠山地区に関われる機会をいただけるということに対して「大変光栄だ」とおっしゃっておられます。

また、葭本氏のご自身のお考えとして、学校に入って児童と一緒に歌詞を考えたり、制作の途中で、児童からの感想を聴きたいとするなど、児童とのやり取りをしながら、校歌の制作を進めていきたいというお考えを持っておられまして、これは再編検討委員会の委員の考え方と同じ思いで、校歌の制作を進めていただけるのではないかという理由からでございます。

続きまして、校歌の制作に向けた概要でございますが、校歌のコンセプトといたしましては、「上村・南信濃地区の歴史・伝統を尊重し、児童が夢や希望を持ち、再編後の学校への期待を感じられる明るいイメージとなる校歌」としていること、「学校との連帯感が形成され、児童にとって上村・南信濃地区への愛着と誇りを感じることができる校歌とすること」、「小学生が歌いやすい歌であって、歌い継がれていく校歌であること」、「学校の理念・自然環境・歴史・地域性等を、歌詞と旋律で表現する教育的役割を担う歌として位置づけ、校歌としての『各』と『重み』、そういったものを感じられる曲」ということで整理していただいております。

曲の長さについては、実際の歌詞の長さにもよりますが、2番までがよいのではないかと。

音域、歌唱形式、伴奏の難易度、楽譜等は記載のとおりでございます。

また、歌詞のフレーズ等につきましては、児童の学びの観点から、上村小学校や和田小学校の授業、または今年度から実施します合同生活授業に実際に入ってくださいまして、児童と対話する機会を設け、児童の雰囲気を感じながら、それを校歌の歌詞に取り入れていただく方向が良いだろうと整理をしているところでございます。

続きましては、制作に向けたスケジュールでございます。

そして、先ほども少し触れましたが、子どもたちに校歌の歌詞・フレーズを一緒になって考えていただきますので、実際に学校に入ってください、子どもたちとの関わりをもって、そのような時間を5月から6月で持てればと考えております。それを踏まえまして、6月から11月、約半年かけまして、実際の校歌の作詞・作曲に取り組んでいただきます。12月を目途に実際できたものの試聴会を行いまして、再編検討委員会等において意見交換しながら最終調整して、12月には再編後の小学校の校歌を完成させたいと考えております。そして、1月から3月に子どもたちへの歌唱指導等を行いまして、9年4月の入学式でお披

露目をしたいというふうに考えているところでございます。

この報告を踏まえまして、今、事務局のほうで、葭本氏との契約締結に向けた準備を進めているところでございます。また、あわせて学校と調整をいたしまして、児童と一緒に歌詞やフレーズを考える取組について今、学校と調整を進めているところでございます。

資料8ページになりますが、今度は校章の制作についてでございます。

こちらの制作の委託先の案といたしまして、寺澤朝子氏にお願いしてはどうかということとで提案いただいております。

理由でございますが、飯田市在住の方でございまして、市内でデザイン事務所を手掛けており、これまでも「ムトスぷらざ」ですとか、「飯田焼肉」のロゴをはじめまして、行政や企業など幅広くロゴの制作をされてきた方であります。また、寺澤氏自身は、これまで校章の制作に携わったことがないとのことですが、新たな挑戦として前向きに受け止めて捉えていただいております。寺澤氏自身も話をする中で、「再編後の小学校の特徴が少しでも出るような提案をしたい」という意欲をお持ちであり、再編検討委員会や校名検討部会で出された意見を踏まえ、地域の皆様から親しまれる校章の制作を進めていただけるんだという認識のもと、提案をいただいております。

校章の制作に向けた概要でございますが、コンセプトといたしましては、「現在の上村小学校と和田小学校の歴史・伝統を尊重するとともに、再編後の学校への期待感を生み出される校章のデザイン」としたいこと。また、「地域の住民の皆様からも親しまれ、再編後の学校にふさわしいシンボルとなる校章にしよう」というものでございます。

サイズ、作成方法、ファイルは記載のとおりでございます。

校章のデザインでございますが、「デザインは上村小学校と和田小学校の両校の校章のそれぞれの要素を取り入れ、組み合わせでつくっていただくこと」を考えております。デザインイメージといたしましては、「両校の校章のそれぞれの要素を組み合わせたもの」、また、「それぞれの要素を組み合わせた上で、新たな要素を加えたもの」、また「その双方を取り入れたもの」その3つのパターンでつくっていただきつつ、校章のデザインの真ん中に、「小」とか「遠小」ですとか、遠山の「遠」といった文字を入れたり、または入れないと、そういったいくつかのパターンをデザインいただきまして、その中から再編検討委員会で協議、決定をしていきたいというふうに考えております。

9ページになりますが、こちら制作に向けたスケジュールでございますが、現在この報告を踏まえまして、契約の話を進めているところでございます。

そして、5月から6月にかけて、実際に案のデザインをしていただきまして、7月、8

月にかけて、そのいただいた案について検討委員会等で検討・協議をいたしまして、9月までには新たな学校の校章を決定したいと考えております。

そして、この新しい校章をもとに校旗や校章の制作を進め、令和9年の4月の入学式までに間に合わせていくと、そのようなスケジュール感で進めていくというものでございます。

このような形で、校歌と校章の制作、具体的に委託先が決まりまして、また内容等も今、確認をしながら進めているところでございます。

今後も適宜、進み具合をまた報告させていただきたいと思っております。

説明は以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、何かご発言がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） また、ご承知おきをいただいて、報告をしてまいりたいと思います。

---

#### （5）学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（5）番、「学校教育課関係報告事項」。

○学校教育課長（伊藤 寿） 特にございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

#### （6）教育センター関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（6）番、「教育センター関係報告事項」。

松澤教育センター所長、お願いします。

○教育センター所長（松澤和憲） センターからは、先ほどの北澤職務代理からもお話ありましたが、令和8年度、今年度からスタートしました、飯田市の特設教科「みらい創造科」についてでございます。

資料では、10ページから15ページになりますのでお願いします。

昨年度、この教育課程の特例校のほうの申請を行うということをお伝えさせていただきましたが、「指定された」という通知が届きまして、「指定された」ということ、その通知が届きましたので、ご報告を申し上げます。

10ページはその中身になりますが、11ページに行ってくださいますと、教育課程特例校

指定書というものが、飯田市教育委員会に文科省から来ているということでございます。

12 ページは、ここに指定された学校名、飯田市の全学校が、そこの特例を指定した学校という形で一覧に載っております。このように、文部科学省から特設教科のほうに指定されますと、どういう教科であるのかということ ホームページに載せなければいけないということがございます。

13 ページには、みらい創造科のポータルサイト、教育センターでつくっているポータルサイトの一番入り口のところを載せさせていただきました。これが5月の下旬に国までもう一回上げるところで、もう少ししたらこれが完成して、県に上げて国に届いているような形になっておりますので、まだもう少し直しが入りますが、まず入口としては、この4つの窓がありまして、一番上には各学校の教育紹介のページのところになっております。その下の3つに関しては、今までつくってきたリーフレットであるとか、あるいはこういうものを使うと、探究のほうに子どもたちが取りかかりやすいというツールというか、思考ツールみたいなものは、ここからリンクでいけるようにしております。

一番上の「取組紹介」のページをクリックしていただくと、次のページ 14 ページになりますが、「飯田市、各学校の取組」ということで、そのページに入っていきます。

先ほどお伝えしたように、この教科はどのような教科であるかということ をまず示してあります。「飯田市では、令和8年度より市内すべての小中学校で、飯田独自の特設教科『みらい創造科』を導入した」ということになります。「子どもたち一人一人の『問い』や『願い』を起点として、地域のひと・もの・ことと関わりながら、自ら課題を見つけて取り組む、そういったことを飯田市全体で取り組んでいきます」ということになります。

みらい創造科では、この時間をどこから取り出していくかということ、生活科や総合的な学習の時間の授業から年間25時間程度という形で時間を指定しています。「程度」というのは、25時間でなければならないということではなくて、総合的な学習の時間の中でも、子どもたちの「問い」・「願い」で「探究する学び」であれば、25時間でも30時間でも、というような形で、こちらは指定しないが、飯田市全体の中であれば、25時間程度は子どもたちを主体とした「探究する学び」ということを大事にしていきたいというところになっております。その授業時数のことについては、下の表の中でこのような時間からというところが示されています。

学びのポイントとしては、みらい創造科、これまでの飯田市の取組であるみらい創造教育、キャリア教育や公民館活動など、地域とともにある学びをさらに充実させるということで、その下の菱形にいくと、「探究する学び」、「地域との関わり」、「未来を切り拓く力」

を大事にしていきたいということ示させていただいています。

このページを見ていただいた地域の皆様には、ぜひ一緒に取り組んでいただくという内容があり、「みらい創造科の学びは学校の中だけで完結しません」ということで、地域の皆さんもともに見守り、支えてまいりますという形で取組を紹介しております。

最後の 15 ページには、ただ、学校名が一覧になっていますが、それぞれの学校をクリックすると、その中に、それぞれの取組が示していけるようになっていきます。先ほどお話ありました各学校、昨年度カリキュラムのほうを作成していただいています。その昨年度考えたカリキュラムを載せるかどうか協議しまして、昨年つくったカリキュラムを載せてしまうと、それが固定したプログラムのものになってしまう。つまりそこにもう枠が出てきてしまうので、これからこのページは随時更新という形になってますが、「子どもたちにこういう問いになって、こうやっていく」というその過程をページ更新していくことを大事にしていきたいということで、そのようなページにしていきたいと考えております。

私からは以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

では、続けて次へまいります。

---

## （7）生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （7）番、「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」。

木下生涯学習・スポーツ課長。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） 16 ページになります。第 40 回飯田やまびこマーチについて、人数ですが、そちらを中心にご報告させていただければと思います。

4 月 25 日の土曜日、26 日、両日にわたって開催されました。

今回については 40 周年ということで、先ほど教育長のほうからもお話がございましたが、例年になく取組を企画して、特に主会場の出店なんかについては、大変賑わっていたというふうに思っております。

ただ、実際、当日の参加者数ですが、2 番になります。25 日土曜日については合計で

913人、申込者数です。コースごとの人数が記載しておりますので、そちらをご覧になっていただければというふうに思っております。

下段のほうに、前回39回的人数も載せさせていただいております。25日に関しては、前年度991人でしたが、今年度については913人という結果でした。同じく、26日の日曜日につきましても、コースごと、合計が書いておりまして、合計人数と26日合計が915人ということになっております。前回、昨年が947人ということで、ちょっと減ということになっております。

2日間の合計ですが、1,828人の参加ということになります。前回の1,938人ということになりますので、人数的には減しておるということになります。ちなみに第38回につきましては、2,059人でありましたので、ちょっと記載こちらにはないですが、例年少しずつ減っているというような状況であります。

ただし、今年度の参加者数には、例えば主会場の出展に来られたという方や、ウォーキングのほうに参加していない方は数に入っておりませんので、そういったところもまた実行委員会で検証したいなと思っております。

コース別に見たときに、やはり10キロですね。土曜日も日曜日も10キロコースがちょっと人数的には多く減になっているかなというところがあります。あと26日の歩育コースに関しても、ちょっと人数的な減があったということになります。この辺についてはまた分析をして、実行委員会でまた来年度のあり方について検討したいと思っております。

3番目は、大会を支えたスタッフ数ということで320人ということになっておりますので、またご覧いただければと思います。こちらは、昨年は342でしたので、多少ちょっと減になっております。チェックポイントの運営等で多少の増減もありますので、そういったところもまた検証しながら、来年度に向けてどういった形がいいかということを実行委員会で検討したいと思っております。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

もう少し説明を進めてからにしたいと思えます。ご質問いただくことにつきましては。

---

## （8）国民スポーツ大会推進室関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では、併せてといたしますか、次へまいりまして、「国民スポーツ大会推進室関係報告事項」。

堤国民スポーツ大会推進室長。

○社会教育担当参事兼国民スポーツ大会推進室長（堤 幹雄） お願いいたします。

信州やまなみ国スポ飯田市実行委員会の設立についてということでお願いをいたします。  
資料 17 ページをご覧ください。

国内最大の国民スポーツの祭典と言われる国民スポーツ大会でございますが、令和 10 年度の本大会に向けて、いよいよ本格的に、若干遅れておりますが準備を進めていく段階に入っております。長野県では、昭和 53 年に開催されましたやまびこ国体以来、実に 50 年ぶりとなる大会が令和 10 年度に開催をされます。

当飯田市におきましては、正式競技として弓道、そして特別競技として高等学校の軟式野球が行われるというものであります。

この大会を成功させるためには、市民、関係団体、行政一丸となって取り組むことが重要でございます。市民の総力を結集し、各界の代表者の参画を得る中で、信州やまびこ国スポ飯田市実行委員会を設立することとなっております。

実行委員会でございますが、来週 5 月 18 日月曜日 19 時から設立総会、引き続いて、第 1 回総会という形で進めていく計画でございます。

この実行委員会でございますが、100 人規模の肥大化したような組織とするのではなく、目的を達成できるように、極力コンパクトな組織で効率的な大会運営となるよう努めてまいりたいと考えております。次の 18 ページ以降に実行委員会名簿をお示ししてございます。

この組織は、昨年度の大会を実施した自治体であったり、県内の自治体の実行委員会を参考にいたしまして、おおむね同様の組織化をしたものでございます。

市長を会長に、副会長には議会、またスポーツ協会、商工会議所の代表の皆様、そして副市長、教育長として監事・委員はご覧の皆様をお願いしてまいります。そして、顧問といたしまして、地元県会議員の皆様、さらに参与として、教育委員の皆様をはじめ、ご覧の皆様をお願いをしております。参与という立場でご助言をいただきたいと、そのように考えているものであります。

この本実行委員会でございますが、年 1 回程度を予定しております。基本方針であったり、事業計画、予算計画などの議決機関と位置づけているわけでございますが、実際の運営計画であったり、そういったものは専門委員会を別途組織いたしまして、実際の運営に向けた検討を進めてまいりたいと、そのように考えております。

19 ページの下でございますが、大会の概要でございますが、正式競技の弓道、こちらは三日市場の運動公園にございます弓道場、こちらを会場にしまして、近的・遠的とございますが、少年男子、少年女子、成年男子、成年女子といった種別で競技が行われます。

そして、20 ページでございますが、特別競技の高等学校軟式野球を同じく三日市場のメタルテック飯田スタジアムを会場に行われると、そのようになってございます。

最後に、大会に向けたスケジュール、ご覧のとおりでございますが、本大会でございますが、令和10年9月末から10月に行われるというところでございますが、そのリハーサル大会というものが、もう既に来年の令和9年6月に弓道、7月終わりから高等学校の軟式野球大会が予定をされておるところでございます。

このリハーサル大会については、本大会同様に会場設備等を整えると、そのようになってございますので、実行委員会設立後、早速準備を進めてまいりたいと、そのように考えております。

教育委員の皆様には大変お忙しいところではございますが、参与という立場でご参画をいただきまして、大会に向けてご助言をいただきますと幸いに存じます。よろしく願いいたします。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） 生涯学習・スポーツ課関係と国民スポーツ大会推進室関係、何かご質問等ございましたら。

よろしいでしょうか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

では、続いてまいります。

---

#### （9）文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （9）番、「文化財保護活用課関係報告事項」。

下平文化財保護活用課課長。

○文化財保護活用課長兼考古博物館長（下平博行） 文化財保護活用課からご案内します。

資料の21・22ページをご覧ください。

当課では現在、史跡恒川官衙遺跡の整備をしているところでございますが、復元建物のデータの取得のため、奈良時代の税である米を納めた正倉の調査行っているところでございます。その調査の様子を皆様に見ていただきますよう、現地見学会の開催を企画したところでございます。

期日は5月17日の日曜日10時からであります。

ご興味のある方は、お越しいただきますようご案内申し上げます。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

#### (10) 公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では続きまして(10)「公民館関係報告事項」。

小林市公民館副館長。

○市公民館副館長（小林和弘） 資料は23ページになります。

高校生講座、カンボジアスタディツアーになりますが、平成25年度からスタートしておりますが、今年度も実施を予定させていただいております。

実施体制はこれまで同様、主催、飯田市公民館が、協力としまして、ふるさと南信州縁の基金、株式会社ピース・イン・ツアー様のご協力をいただいております。

市内のまた地域の高校生を対象に、地域に誇りと愛着を持ちながら、広い視野で自身や飯田を捉え考えられる人材育むこと目的として実施予定しております。

資料の24ページをご覧くださいませでしょうか。

中段になりますが、今年度の参加者18名、ご覧いただいたとおりで参加が確定しまして、下段スケジュールになりますが、全体の学習会ということで、既に5月2日に第1回の学習会、保護者の皆様にもご同席をいただきまして、説明会を含めスタートさせていただきまして、この後ですが、グループに分かれまして、現地研修までの間の大事にしている部分になりますが、事前学習、また現地研修があつてですが、事後学習等予定をさせていただいております。

現地研修は、カンボジアへ8月6日から8月12日の予定であります。

今年度につきましては、中段の参加者名簿の下になりますが、現地随行ということで、熊谷教育長にも今年度随行をいただく旨で、今予定の調整をさせていただいているところであります。また、飯田市公民館からは、職員3名同行の予定で、これから現地学習へ向けての実践の学習を進めてまいっております。

私からの報告は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

文化財関係、公民館関係につきまして何かご質問等ございますか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） よろしいでしょうか。

では、続いてまいります。

---

## (11) 文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （11）番、「文化会館関係報告事項」。

筒井文化会館館長。

○文化会館館長兼新文化会館整備室長（筒井文彦） それでは資料 25 ページのデータをご覧いただきたいと思います。

「オーケストラと友に音楽祭 2026」の実施報告ということで、速報値で資料を用意してございます。

冒頭、それぞれの委員の皆さんから感想をいただきました。ご協力いただきありがとうございます。

速報値ですので、今後多少数値に変化があるかもしれませんが、25 ページの概要のところをご覧いただきたいと思います。5月2日のプレコンサートそこから始まっておりまして、「そよ風コンサート」、「にこにこ音楽祭」等の数字が入っております。

特徴的なことを申し上げますと、今年度りんごの里で初めて「そよかぜコンサート」を実施することができました。また、同じく飯田病院にもご協力いただきまして、「オケ友」といたしまして、初めて飯田病院のロビーコンサートを行うことができました。これまでも飯田病院では、ロビーで様々な演奏会を行っていたということでありましたが、コロナ等いろんな要素がありまして、実施をされずにいまして、今回久しぶりにロビーでコンサートをやっていただいたということでございます。

2 ページ目に行きまして、26 ページでございますが、「オケ友音楽ひろば」または「コミュニティコンサート」ということで、この「オケ友」が今回18回目ですが、「コミュニティコンサート」に関しましては、飯田市の下久堅地区の公民館の関係者にご協力いただく中で、小学校の体育館で「コミュニティコンサート」を実施することができました。また、阿南町では、阿南町文化会館で行うことができました。

さらにご感想いただきましたが、「音楽クリニック」では、ここの（7）の①のところに書いてございますが、受講者 233 名ということで、小学生が 8 名、中学生が 98 名、高校生 68 名という人数でクリニックを行っております。

なお、一年を通してクリニック以外でもやっておりますので、今週末には来年度に向けた基礎コースというものも始まります。日曜日には、来年度を見据えた基礎コースというものも始まっているということで、ご承知おきいただければと思います。

（8）には、「名フィルの名曲コンサート」ということで、地元伊賀良の旭ヶ丘中学校の

二年の熊谷謙志さんのソロということもありまして、多くの方に鑑賞をいただいたということでもあります。

最後に1点、感想を含めたものですが、18年の積み重ねの中で、今回、昨年度まで高校生でクリニックを受けた方が大人のコースに参加していただいて、さらには実行委員にもなっていたということ、着実に音楽の文化というものが、この地元のお子さんからさらに成年に至ってまで広まっているかなということ、今年度のオケ友では感じた次第であります。

報告は以上になります。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

---

## (12) 中央図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは、続いて（12）番、「中央図書館関係報告事項」。

矢澤中央図書館館長。

○中央図書館長（矢澤 恵） 図書館からの報告です。

毎年、定例の事業を2件ご案内させていただきます。資料27ページ、28ページになります。

まず、1件目、「図書館図書リユース市」になります。

図書館では普段から利用者の方に、常に新鮮な利用者の方のニーズに寄り添った図書の蔵書構成を目指しておりますが、その中で不要な本も出てまいります。そちらの本を市民の方に使っていただくように還元するリユース市行っております。

こちらに関しましては、5月23日から26日火曜日までとなりますが、その前日5月22日には、市内関連施設ですとか、小学校、保育園などに内覧を行いまして、市内の施設で使っていただくことも考えております。

次のページ28ページお願いいたします。

こちらは、生涯学習スポーツ課の関係の、先ほどのゴールデンウィークの報告もありましたが、そちらでやっております「おもしろ科学工房」の方と図書館とのコラボ企画ということで、これも毎年例年の企画となっております。

「おもしろ科学工房」では、各種様々な理科の実験を実際に体験して、子どもたちに経験いただく講座ですが、それと図書館がコラボいたしまして、実験を実際にする。それからそれに合わせた本の紹介ですとか読み聞かせをすることで、子どもたちの学びをさらに深める、そんな目的で行っております。

図書館で1回、それから子どもの森公園で1回連続企画となります。子どもの森公園には、図書館の本とパソコンを持っていきまして、実際に公園でも本の貸出しを行う予定でおります。

以上となります。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

今の2つ、文化会館関係と図書館関係につきまして、何かご質問等ございましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

---

### （13）美術博物館関係報告事項

### （14）歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では続いて、(13) 番の「美術博物館関係報告事項」と「歴史研究所関係報告事項」を併せて。

牧内副館長及び副所長、お願いします。

○美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは、美術博物館からの報告、29 ページの「びはくにゅーす6月号」をご覧ください。

展示につきましては、何度かお話をしておりますが、5月25日から6月8日までの間、燻蒸と展示替えにより休館させていただきますので、6月4日から4つの展示が同時に開催をされます。

このうち「第82回南信美術展」は、これまで公民館で展示しておりましたが、本年度は創立80周年にあたりますので、それを記念しまして美術博物館での展示となります。

また、文化トピック展示の「信濃の国」の作詞者浅井 洌と飯田下伊那では中央図書館と歴史研究所に寄贈されておりました資料から、「信濃の国」の作者である浅井 洌の師範学校での生徒への講義録が発見されましたので、浅井 洌の具体的な教育実践を知る手掛かりとして、研究上、貴重な資料として注目されております。

また、飯田下伊那の尋常小学校で制定された校歌のうち12校が浅井の作詞であるなど、浅井 洌と飯田下伊那のつながりについても紹介をいたします。

このほか、展示は記載のとおりでございます。

プラネタリウムにつきましては、夏番組を開始します。6月の「こどもタイム」を行う第3日曜日には、お子さんが泣いたりすることでプラネタリウムに来ることを遠慮してい

る赤ちゃんから未就学のお子さん連れの家族を対象にしました「はじめてのプラネタリウム 星空へようこそ」と題した特別投影を行います。

30 ページには自然講座・文化講座では、見学会やトピック展示の解説会など開催日時、内容を掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

続きまして、31 ページの5月17日の「田中芳男と国際博物館の日」特別企画のチラシをご覧ください。

先月の定例会でも一部口頭で説明させていただきましたが、5月18日が国際博物館の日とされております。

令和6年度から美術博物館では5月18日前後の日に「田中芳男と国際博物館の日」と名付けて事業を行っております。今年度は5月18日が月曜日に当たりますので、前日の5月17日をこの事業日としておりますが、ちょうど5月の「こどもタイム」を行う第3日曜日の日と重なっておりますので、この日の催しでもお子さん連れでも楽しめる催しとしまして、見学会である「城下町を歩いて『時の番人』を探そう」と、日赤奉仕団の皆さんによります紙芝居「飯田市出身の物産学者、博物館の父 田中芳男」の公演を行います。関心のある催しがありましたら、足を運んでいただければと思います。

美術博物館からは2点でございます。

ここから歴史研究所の報告ですが、33 ページ歴史研究所ワークショップのチラシをご覧ください。

4月の定例会でもお話をさせてもらいましたが、6月6日土曜日に市役所3階の会議室を会場に、オンライン併用でワークショップを開催します。

今回は、中央図書館を定年退職後、市史編纂室と歴史研究所で調査研究員として勤務された齊藤俊江さんの著作である「地域史をひらく」ということで、「満州移民と飯田遊郭」の書評会を行います。

齊藤さんが満州移民や飯田の遊郭について、調査研究をまとめた書籍の内容につきまして、満州移民史、地域史、遊郭史の3分野の研究者が紹介、分析、批評して意見を交わし、成果と課題を深める機会となります。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） それでは、美術博物館関係と歴史研究所関係につきまして、何かお聞きしたいことがございましたらいかがでしょうか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

全体を通して何か聞きそびれたこととか、ご発言しそびれたことがありましたらいかがでしょうか。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

それでは次に進みます。

---

#### (15) 今後の日程について

○教育長（熊谷邦千加） (15)「今後の日程について」。今後の日程について事務局、説明をお願いします。

北澤総務係長。

○教育政策課総務係長（北澤五月） 報告資料の2ページ、3ページをご覧ください。15番「今後の日程について」になります。

報告にもありましたとおり、現在、教育長・教育長職務代理者は学校訪問をいただいております。5月19日まであと3日間ほど訪問をいただきます。

5月14日木曜日、今週木曜日ですが、午後1時半から飯伊市町村教育委員会連絡協議会総会・春季研修会が合庁の3階講堂で行われます。ご出席いただきます予定となっておりますので、よろしく願いいたします。

5月18日月曜日、こちらも今お話ございました信州やまなみ国スガ飯田市実行委員会設立総会・第1回総会、市役所のC311～313会議室で行われますので、よろしく願いいたします。

5月20日にございます飯田市奨学金貸与審査会、こちらは教育長職務代理者、野澤委員の出席をお願いしております。よろしく願いいたします。

来月6月の定例会ですが、6月11日木曜日、こちらは市役所のA301・302本会場となりますので、よろしく願いいたします。

それから6月15日の月曜日は、第1回小中一貫教育推進委員会ということで、こちらも予定をいただきますようお願いいたします。

日程は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） 日程について、何かご質問ございますか。

(「ありません」との声あり)

○教育長（熊谷邦千加） 明後日になります飯伊市町村教委連の総会があるんですが、例年そこ

で会計監査を野澤委員さんをお願いしているんですが、今回もご発表いただくことになっているんですが、次年度もよろしいですか。それとも回していったほうが良いでしょうか。

- 教育委員（野澤稔弘） どちらでも結構です。
- 教育長（熊谷邦千加） いつも野澤さんをお願いしちゃってていいんですかね。
- 教育長職務代理者（北澤正光） いいんじゃないですか。
- 教育委員（野澤稔弘） はい。
- 教育長（熊谷邦千加） 申し訳ありません。

そんなことで、引き続きそこで指名という形で、空欄になっていてそこでお願いしますみたいな形になるかと思いますが、引き続きよろしくお願いします。

日程については何かよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- 教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

---

#### 日程第10 閉会

- 教育長（熊谷邦千加） では、次に進みまして、以上をもちまして閉会とさせていただきます。  
お疲れ様でした。

---

閉会 午後4時45分